

まえがき

第一章 コンピュータ技術の五〇年

- 1 コンピュータはどう発展してきたか
- 2 KからMへ、MからGへ
- 3 量的拡大から質的变化へ

第二章 脳のメタファを超えて

- 1 脳をメタファとするコンピュータ
- 2 アフォーダンス的知能とは
- 3 AIからIAへ、そして空間型コンピュータ

第三章 バーチャル・リアリティ

- 1 バーチャル・リアリティ技術の意義と新規性
- 2 五感情報とコンピュータ

3 高品位ディスプレイとしてのIPT

4 テレレグジスタンス

5 空間通信、MVLとビデオアバター

6 仮想新大陸の発見

第IV章 リアルとバーチャル

1 ミクスト・リアリティ

2 オーグメンテッド・リアリティとオーグメンテッド・バーチャリティ

3 実空間を記録する

4 デジタル空間の時間軸と空間軸

5 重厚長大と軽薄短小

第V章 モバイルからウェアラブルへ

1 コンピュータの小型化は何をもたらしたか

2 インティメート化するコンピュータ

3 ウェアラブル・コンピュータ

4 メディア・ファッション

5 体験の記録と記憶

第VI章 情報化する実空間

1 位置センシング空間

2 ユビキタスな情報通信空間

3 情報空間としての建築

177

第VII章 超分散のシステムに向けて

1 分散型システムから超分散型システムへ

2 ゾーニングの消滅

3 モバイルとゆらぎ

4 中枢から末梢へ

5 エントロピーの技術

201